

む す び

財政は、総じて健全に運営されていた。一般会計及び特別会計を総括した実質収支額が、293,522,424円（前年度は320,106,987円で26,584,563円の減）の黒字決算をもって翌年度に引き継いだ。

ただし、国民健康保険特別会計においては収支の均衡が得られず、令和元年度までの累積赤字は解消されたものの、単年度赤字の発生が予想される。社会の高齢化が進むなかで、本町の国民健康保険加入者の一人当たりの医療費（一般、退職者）は年額370,250円（前年度372,882円）と減となっているが、依然として高い状況にある。この10年間の推移をみると、平成25年度は年額305,427円であり、10年間で64,823円増加している。この医療費に対する抑制策は、喫緊の課題であり、抜本的解決が急がれるが、保健福祉課及び国保年金課が連携し、KDB（国保データベース）を活用した南風原町保健事業実施計画（データヘルス計画）等の取り組みがある。同事業を含む町民への健康づくりに関する諸施策を実践していくことで、中・長期的に町民の医療費が削減されるよう今後とも取り組まれない。

さて、令和4年度は、ハード面においては、土地区画整理事業、津嘉山中央線街路事業、町道10号線、道路改良事業、津嘉山公園整備事業があり、ソフト面においては、保育所運営事業、介護給付・訓練等給付事業、地域生活支援事業等がある。教育面では、小学校照明LED化事業、北丘小学校体育館整備事業など町民生活に密着した幾多の施策が推進されて、成果を収めたことは評価されることである。

令和4年度一般会計決算において、自主財源では、財産収入が対前年度比4,586,833円減（伸び率△18.0%）となっているが、寄附金が対前年度比261,463,565円増（伸び率92.1%）、繰入金金が対前年度比247,355,137円増（伸び率111.6%）、諸収入が対前年度比203,904,276円増（伸び率35.2%）となり、自主財源は対前年度比1,135,425,643円増（伸び率19.3%）、自主財源比率が対前年度比17.5ポイント増となっている。次に依存財源は、県支出金が前年度比208,666,957円増（伸び率10.2%）、地方消費税交付金が対前年度比75,778,000円増（伸び率8.8%）となっているが、町債が対前年度比362,500,000円減（伸び率△48.2%）となり、依存財源は対前年度比1,273,153,580円減（伸び率△10.5%）、依存財源比率は対前年度比1.8ポイント減となっている。

南風原町は、「福祉のまち」「子育てしやすいまち」として認知されている。一方、現実には厳しい財政運営となっていことから財源の確保に努め町民への福祉サービスの向上を図るよう取り組まれない。

以上のように、厳しい財政状況が続く中、「南風原町まちづくり基本条例」の基本理念及び基本原則を意識したまちづくりと「南風原町第五次総合計画」の長期展望のまちづくり、行政改革の進捗と主要施策の成果等に鑑み、安定した財源の確保及び新たな財源の創出に努め、限られた財源のなかで、引き続き、歳出の効率化・重点化を図り、健全な財政運営と行政改革を

認識し、町政の更なる進展と町民福祉の向上増進に寄与されるよう、一層のご尽力を望むものである。